

事例2

単元

身近な人物について紹介する

(第1学年 全7時間)

英語の目標

「書くこと」イ

単元を通して育成を目指す資質・能力

語や文法事項等を理解して正しく書く力

学習評価のキーワード

「書くこと」における「知識・技能」の評価

※本事例では、令和2年度佐賀県小・中学校学習状況調査の結果より、「語や文法事項等を理解して正しく書く力」に課題が見られたことを踏まえて、「英語の目標」「単元を通して育成を目指す資質・能力」「学習評価のキーワード」を設定しています。

1 単元の目標と評価規準

(1) 目標

ALT に身近な人物についてよりよく知ってもらうために、事実や情報を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができる。

(2) 評価規準（「書くこと」の評価規準）

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> 三人称単数現在形の特徴やきまりを理解している。 身近な人物について、簡単な語句や三人称単数形などの文を用いて書く技能を身に付けている。 	ALT に身近な人物についてよりよく知ってもらうために、事実や情報を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。	ALT に身近な人物についてよりよく知ってもらうために、事実や情報を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。

※ここでは、「書くこと」についての評価規準を示していますが、実際の指導に当たっては、「話すこと [発表]」などの他の領域の評価規準を設定することも考えられます。

2 指導と評価の計画（全7時間）

時間	ねらい(■), 言語活動等(丸数字)	知	思	態	[評価方法]
1	■単元の目標を理解する。 ①上級生が身近な人物について紹介しているモデル動画を見る。 ②自己目標を設定する。 ■身近な人物（憧れの人）について紹介する。 ③Teacher talk（「憧れの人」の紹介）を聞く。 ④「憧れの人」について、ペアで紹介し合う。 ⑤教師と生徒がやり取りを行いながら、三人称単数現在形（肯定文）の特徴に気付く。 ⑥「憧れの人」について再度ペアで紹介し合う。 ⑦「憧れの人」の紹介文を書く。				本時では、[指導に生かす評価]を行います。
					「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・個別にやり取りし、三人称単数現在形(肯定文)の特徴への気付きを促す(言語活動等⑤)。
2	■身近な人物（Tokyo2020 人気アスリート）について正しく紹介する。 ①前時に行った「憧れの人」について、教師とやり取りを行う。 ②Teacher talk（「Tokyo2020 人気アスリート」の紹介）を聞く。 ③「Tokyo2020 人気アスリート」について、ペアで紹介し合う。 ④教師とやり取りを行いながら、三人称単数現在形(肯定文)の特徴やきまりに気付く。 ⑤「Tokyo2020 人気アスリート」について、再度ペアで				本時では、[指導に生かす評価]を行います。
					「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例) ・個別にやり取りし、三人称単数現在形(肯定文)の特徴やきまりへの気付きを促す(言語活動等④)。

	<p>紹介し合う。</p> <p>⑥「Tokyo2020 人気アスリート」の紹介文を書く。</p> <p>⑦教科書 Part1 の内容理解を通して、三人称単数現在形(肯定文)の特徴やきまりを理解する。</p>				
3	<p>■身近な人物(学校の先生)について正しく紹介する。</p> <p>①Teacher talk(「学校の先生」の紹介)を聞く。</p> <p>②「学校の先生」について、ペアで紹介し合う。</p> <p>③教師とやり取りを行いながら、三人称単数現在形(否定文)の特徴やきまりに気付く。</p> <p>④「学校の先生」について、再度ペアで紹介し合う。</p> <p>⑤「学校の先生」の紹介文を書く。</p> <p>⑥教科書 Part2 の内容理解を通して、三人称単数現在形(否定文)の特徴やきまりを理解する。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p>	<p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別にやり取りし、三人称単数現在形(否定文)の特徴やきまりへの気付きを促す(言語活動等③)。 		
4	<p>■身近な人物(町内の有名人)について正しく紹介する。</p> <p>①Teacher talk(「町内の有名人」の紹介)を聞く。</p> <p>②「町内の有名人」について、ペアで紹介したり、質問に答えたりする。</p> <p>③教師とやり取りを行いながら、三人称単数現在形(疑問文)の特徴やきまりに気付く。</p> <p>④「町内の有名人」について、再度ペアで紹介したり、質問に答えたりする。</p> <p>⑤「町内の有名人」の紹介文を書く。</p> <p>⑥教科書 Part3 の内容理解を通して三人称単数現在形(疑問文)の特徴やきまりに気付き、理解する。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p>	<p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> 個別にやり取りし、三人称単数現在形(疑問文)の特徴やきまりへの気付きを促す(言語活動等③)。 		
5 本時	<p>■身近な人物の1日の生活について正しく紹介する。</p> <p>①Teacher talk(「ALTの1日の生活」の紹介)を聞く。</p> <p>②教師とやり取りを行いながら、三人称単数現在形(肯定文、否定文、疑問文)の特徴やきまりを確認する。</p> <p>③「私の1日の生活」について、ペアで紹介したり、質問に答えたりする。</p> <p>④③を踏まえ、「友達の1日の生活」について、他のペアと紹介し合う。</p> <p>⑤④を踏まえ、「友達の1日の生活」について書く。</p> <p>⑥ペアを替えながら原稿を読み合い、文法事項を正しく使えているかなどを協力して確認し、書いた英文を修正する。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p>	<p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> チェックリスト(📄p.7資料4)で点検する視点を提示し、生徒自身で語順やつづりなどの誤りに気付くよう促す(言語活動等⑥)。 		
6	<p>■身近な人物について正しく紹介する。</p> <p>①友達に紹介したい身近な人物について、ペアで紹介し合う。</p> <p>②友達に紹介したい身近な人物についてグループで発表し、その様子を1人1台端末のビデオ機能を用いて録画する。</p> <p>③発表した英文を書く。</p> <p>④自身の発表の様子を見ながら、文法事項を正しく使えているかなどを確認し、書いた英文を修正する。</p> <p>⑤グループを替えて、再度発表する。</p>	<p>本時では、[指導に生かす評価]を行います。</p>	<p>「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> チェックリストで点検する視点を提示し、生徒自身で語順やつづりなどの誤りに気付くよう促す(言語活動等④)。 		

7	<p>■ ALT に身近な人物について正しく紹介する。</p> <p>①ALT に身近な人物について伝える。</p> <p>②内容面と言語面から単元の学習を振り返る。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>ここでは、〔記録に残す評価〕を行います。</p> </div>			
		○	○	○	[パフォーマンステスト]
後日	ペーパーテスト (📄p. 8) 「書くこと」	○			[定期テスト]

※第1時から第6時までは、〔記録に残す評価〕は行いませんが、毎時間のねらいに即して生徒の活動の状況を把握し、〔指導に生かす評価〕を行います。〔記録に残す評価〕は、第7時の〔パフォーマンステスト〕及び後日の〔定期テスト〕において行います。

※ここでは、単元を通して育成を目指す資質・能力が「語や文法事項等を理解して正しく書く力」であることから、英語使用の正確さ（言語面）の指導に重点を置いて示しています。

3 本時[第5時]

(1) 本時のねらい

身近な人物の1日の生活について正しく紹介する。

(2) 本時の展開

言語活動等	教師の指導のポイント
①Teacher talk (「ALTの1日の生活」の紹介) を聞く。	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が三人称単数現在形(肯定文, 否定文, 疑問文)の英文にできる限り多く触れることができるようにする。
②教師とやり取りを行いながら, 三人称単数現在形(肯定文, 否定文, 疑問文)の特徴やきまりを確認する。	<ul style="list-style-type: none"> 文法事項の特徴やきまりへの気付きを促すため, 生徒とやり取りを行い, 豊富な英文に触れることができるようにする(📄p. 5 資料2)。 生徒とやり取りした英文を板書し, 視覚化する。 生徒の気付きを生かしながら, 文法事項のポイントとしてまとめる。
③「私の1日の生活」について, ペアで紹介したり, 質問に答えたりする。	<ul style="list-style-type: none"> 適宜, 多く見られる誤りや参考となる生徒の表現を取り上げ, 全体で共有する。
④③を踏まえ, 「友達の1日の生活」について, 他のペアと紹介し合う。	<ul style="list-style-type: none"> 机間指導を行い, 英語使用の正確さ(言語面)と表現内容の適切さ(内容面)から生徒の学習状況を把握する。
⑤④を踏まえ, 「友達の1日の生活」について書く。	<ul style="list-style-type: none"> 三人称単数現在形の特徴やきまりを踏まえて英文を書いているか確認する。
⑥ペアを替えながら原稿を読み合い, 文法事項を正しく使えているかなどを協力して確認し, 書いた英文を修正する。	<ul style="list-style-type: none"> ペアで点検する場を設定することで, 英語使用の正確さ(言語面)と表現内容の適切さ(内容面)から修正点への気付きを促す(📄p. 6 資料3, p. 7 資料4)。

4 本事例における指導の工夫等

ここでは、本事例における「語や文法事項等を理解して正しく書く力」を身に付けさせるための指導の工夫等を紹介します。

(1) 指導の進め方

英語使用の正確さを高めるためには、単元や単位時間の授業において、特定の言語材料を繰り返し用いる場を設定し、継続して言語面からの指導を行うことが大切です。そこで、以下のように指導を進めていきます（資料1）。

※ここでは、単元を通して育成を目指す資質・能力が「語や文法事項等を理解して正しく書く力」であることから、英語使用の正確さ（言語面）からの指導に特化して示しています。実際は、英語使用の正確さ（言語面）と表現内容の適切さ（内容面）から指導を行っています。

時間	ねらい(■), 言語活動等(丸数字)
4	<p>■ 身近な人物（町内の有名人）について正しく紹介する。</p> <p>①Teacher talk（「町内の有名人」の紹介）を聞く。 ②「町内の有名人」について、ペアで紹介したり、質問に答えたりする。 ③教師とやり取りを行いながら、三人称単数現在形(疑問文)の特徴やきまりに気付く。 ④「町内の有名人」について、再度ペアで紹介したり、質問に答えたりする。 ⑤「町内の有名人」の紹介文を書く。 ⑥教科書 Part3 の内容理解を通して三人称単数現在形(疑問文)特徴やきまりに気付く、理解する。</p>
5	<p>■ 身近な人物の1日の生活について正しく紹介する。</p> <p>①Teacher talk（「ALTの1日の生活」の紹介）を聞く。 ②教師とやり取りを行いながら、三人称単数現在形(肯定文, 否定文, 疑問文)の特徴やきまりを確認する。 ③「私の1日の生活」について、ペアで紹介したり、質問に答えたりする。 ④③を踏まえ、「友達の1日の生活」について、他のペアと紹介し合う。 ⑤④を踏まえ、「友達の1日の生活」について書く。 ⑥ペアを替えながら原稿を読み合い、文法事項を正しく使えているかなどを協力して確認し、書いた英文を修正する。</p>
6	<p>■ 身近な人物について正しく紹介する。</p> <p>①友達に紹介したい身近な人物について、ペアで紹介し合う。 ②友達に紹介したい身近な人物についてグループで発表し、その様子を1人1台端末のビデオ機能を用いて録画する。 ③発表した英文を書く。 ④自身の発表の様子を見ながら、文法事項を正しく使えているかなどを確認し、書いた英文を修正する。 ⑤グループを替えて、再度発表する。</p>
7	<p>■ ALTに身近な人物について正しく紹介する。</p> <p>①ALTに身近な人物について伝える。 ②内容面と言語面から単元の学習を振り返る。</p>

単元における指導の進め方

単元終末の「身近な人物紹介」に向けて、毎時間繰り返し言語活動を行います(緑の網掛け)。英語使用の正確さ(言語面)から継続して指導を行い、「語や文法事項等を理解して正しく書く力」を高めていきます。

単位時間の授業における指導の進め方

単位時間の授業においても、言語活動と指導を繰り返し、「語や文法事項等を理解して正しく書く力」を高めていきます(ピンクの枠囲み)。

「語や文法事項等を理解して正しく書く力」が身に付いたか確認するために、単元末や後日に、学んだことを再度活用する場面を設定します(青の網掛け)。

【資料1 指導の進め方】

(2) 言語面における生徒の気づきを促す工夫

本時の言語活動等②「教師とやり取りを行いながら、三人称単数現在形(肯定文, 否定文, 疑問文)の特徴やきまりを確認する」における教師と生徒のやり取りの一部を示します(資料2)。言語材料を導入する際は、意味のある文脈の中で教師と生徒がやり取りし、特定の言語材料の特徴やきまりに気付くことができるよう豊富な英文に触れさせることが大切です。実際のコミュニケーションの場面において、まずは音声で十分に慣れ親しませた後で、形式に意識を向けさせるとよいでしょう。

Now I have some questions about Mike's daily life.
What time does he get up every day?

He get up at five.

Right. He gets up at five.
※少しゆっくり発話

あ, sをつけるんだった!

It's very early.
Why does he get up so early? Guess!

えっと...He makes breakfast.

Right. Maybe it's one of the reasons. Any other ideas?

He studies before breakfast.

Good guess, but he doesn't study before breakfast.
OK, I'll give you a hint.
Does Mike have a car in Japan?

No. He ...don't じゃなかった... doesn't have a car.
He ... comes to school ... by bike.

否定文では doesn't を使うんだった!

That's right. Mike lives in Saga City.
It takes about an hour to come here by bike,
so he gets up early in the morning.

【資料2 教師と生徒のやり取りの一部】

生徒と音声でのやり取りを十分に行った後に、やり取りした英文を※板書等で視覚化し、文法事項のポイントとしてまとめるとよいでしょう。音声で理解したことを視覚化しているので、より形式に生徒の意識を向けることができます。

※板書の詳細については、事例3p.6を御参照ください。

(3) 英語使用の正確さを高める手立て

① ペアによる原稿点検

本時の言語活動等⑥「ペアを替えながら原稿を読み合い、文法事項を正しく使えているかなどを協力して確認し、書いた英文を修正する」におけるペアによる原稿点検の実際を示します(資料3)。ペアで協力して原稿を点検することで、新たに誤りに気付いたり三人称単数現在形の特徴やきまりについて再確認したりして、英語使用の正確さを高めることができます。

【ペアによる原稿点検前の生徒2の原稿】

Yuki get ups at six. She has brekfast at six thirty.
She leaves home at seven twenty.
She gets home around six in the evening. She watches TV after dinner. She takes a bath at nine. She gos to bed at ten.

【ペアによる原稿点検】

生徒1: get ups になってるよ。sを付けるのは get の後だったよね?

生徒2: あ、そうだった!動詞の形が変わるんだった!

生徒1: それから..., breakfast のつづりが違うよ。

生徒2: 本当だ!a が抜けてるね。

生徒1: そうそう。あと, go は gos でいいのかな?

生徒2: gos じゃなかったかな?教科書で確認してみるね。...あ, goes だ! go には es が付くんだったね。

生徒1: あとは, 朝食に食べるものとか, 学校ですることとか, ゆきさんの1日についてもっと詳しく説明したほうがいいと思うよ。

生徒2: なるほど!ありがとう。

【ペアによる原稿点検後の生徒2の原稿】

Yuki gets **s** up at six. She has bre**a**kfast at six thirty. She usually eats rice and miso soup.
She leaves home at seven twenty and gets to school at seven forty.
She studies very hard at school. She plays volleyball after school. She plays it well.
She gets home around six. She watches TV after dinner. Her favorite TV program is Doraemon. She takes a bath at nine. She **goes** to bed at ten.

※下線部は修正箇所(赤)及び追記箇所(青)

【資料3 ペアによる原稿点検の実際】

② 「努力を要する」状況(c)の生徒への手立て

本時の言語活動等⑥「ペアを替えながら原稿を読み合い、文法事項を正しく使えているかなどを協力して確認し、書いた英文を修正する」において「努力を要する」状況(c)の生徒へ配付したチェックリストを示します(資料4)。チェックリストを用いて点検する視点を与えるとともに、机間指導を行い、生徒自身で語順やつづりなどの誤りに気付くよう支援を行います。

Check List

以下の項目ができているかチェックしましょう。

No.	✓	項 目
①		三人称単数の主語(I, You 以外)を用いている。
②		三人称単数の主語に合う be 動詞を選んだり、一般動詞を変化させたりしている。
③		英文を書くときの決まりを守っている。
④		情報を並べるだけでなく、詳しく説明する文を書いている。
⑤		相手に伝わりやすい流れで文章を書いている。

【資料4 チェックリスト】



誤りの修正については、過度に正確さを求めすぎず、長いスパンで少しずつ正確さを高めようとする指導観をもって指導に当たることが大切です。

※誤りの修正については、[事例1](#)p.7, [事例3](#)p.7, [事例4](#)p.9も併せて御参照ください。

5 評価問題

単元の指導を通して、育成を目指す資質・能力が身に付いたのかテストする
必要があります。ここでは、そのための評価問題や採点の基準の例などを示します。



(1) 後日のペーパーテスト（「書くこと」）

定期テストにおいて、「語や文法事項等を理解して正しく書く力」を見取るために、特定の言語材料（三人称単数現在時制）を使用して解答する評価問題を出題しています（資料5）。「知識・技能」の評価問題です。

〔指示文〕
あなたは、留学生のアレックス(Alex)について紹介文を書くことになりました。次の情報カード(ア)から(ウ)の内容を用いて、紹介文の原稿を書きなさい。

(ア)


好きなスポーツ	バレーボール
---------	--------

(イ)

週末にすること (on weekends)	映画を見る
--------------------------	-------

(ウ)

ペットの有(○)無(×)	×
--------------	---


アレックス(Alex)

【資料5 評価問題】

① 採点の基準の例

(ア)	1	与えられた情報に基づいて、三人称単数現在時制の肯定文を正確に書いているもの 【正答例】 ・ He likes volleyball.	2 点
	2	与えられた情報に基づいて、三人称単数現在時制の肯定文を書いているが、大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるもの 【準正答例】 ・ He likes volleyball_ (ピリオドなし) ・ his favorite sport is volleyball. (大文字・小文字の書き分け) ・ He likes <u>valleyball</u> . (特定の言語材料以外のつづりの誤り)	1 点
	3	三人称単数現在時制の肯定文の特徴やきまりを理解せず正確に書いていないもの 【誤答例】 ・ He <u>like</u> volleyball. (動詞の活用の誤り) ・ He <u>laiks</u> volleyball. (特定の言語材料のつづりの誤り) ・ He <u>is likes</u> volleyball. (be 動詞と一般動詞の混在) ・ His favorite sport <u>volleyball is</u> . (語順の誤り)	0 点

(イ)	1	与えられた情報に基づいて、三人称単数現在時制の肯定文を正確に書いているもの 【正答例】 ・ He watches a movie on weekends.	2点
	2	与えられた情報に基づいて、三人称単数現在時制の肯定文を書いているが、大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるもの 【準正答例】 ・ He watches movies on weekends_ (ピリオドなし) ・ <u>he</u> watches a movie. (大文字・小文字の書き分け) ・ He watches <u>muvies</u> . (特定の言語材料以外のつづりの誤り)	1点
	3	三人称単数現在時制の肯定文の特徴やきまりを理解せず正確に書いていないもの 【誤答例】 ・ He <u>watch</u> a movie on weekends. (動詞の活用の誤り) ・ He <u>waches</u> movies. (特定の言語材料のつづりの誤り) ・ He <u>is watches</u> a movie. (be 動詞と一般動詞の混在) ・ He <u>movies watches</u> . (語順の誤り)	0点

(ウ)	1	与えられた情報に基づいて、三人称単数現在時制の否定文を正確に書いているもの 【正答例】 ・ He doesn't have any pets.	2点
	2	与えられた情報に基づいて、三人称単数現在時制の否定文を書いているが、大文字・小文字の書き分け等に誤りがあるもの 【準正答例】 ・ He has no pets_ (ピリオドなし) ・ <u>he</u> doesn't have a pet. (大文字・小文字の書き分け) ・ He doesn't have a <u>peto</u> . (特定の言語材料以外のつづりの誤り)	1点
	3	三人称単数現在時制の否定文の特徴やきまりを理解せず正確に書いていないもの 【誤答例】 ・ He doesn't <u>has</u> any pets. (動詞の活用の誤り) ・ He <u>don't</u> have any pets. (助動詞の形の誤り) ・ He <u>dosen't</u> have a pet. (特定の言語材料のつづりの誤り) ・ He <u>isn't has</u> a pet. (be 動詞と一般動詞の混在) ・ He <u>have doesn't</u> any pets. (語順の誤り)	0点

② 評価結果の例

定期テストにおいて、上記の問題を出題した場合、合計点により、当該テストの結果を以下のよう
に評価することが考えられます。

	「知識・技能」の評価結果
合計点が5点, 6点の場合	A
合計点が2点, 3点, 4点の場合	B
合計点が0点, 1点の場合	C

※ここでは例として、合計点による評価を示していますが、正答数によって評価をすることも考えられます。